

日本協同組合学会の皆様

こんにちは。韓国協同組合学会会長 張承權(チャン・スングォン)です。

日本協同組合学会の2022年の秋季大会の開催を心よりお祝い申し上げます。

2020年初め、COVID-19の発生以降、自由に海外旅行ができない状況が続いています。この秋も映像でお祝い申し上げます。来年の両国学会には直接お会いして相互交流ができることをお祈りします。

韓国協同組合学会のニュースをお知らせいたします。当学会が今年創立40周年を向かえました。これまで多くの先輩研究者と学者が力を合わせて成長してきました。個人会員はもちろん、農協、水協、信協、セマウル金庫、生協、さらに一般協同組合や社会的協同組合など、様々なタイプの協同組合が機関会員として参加しています。

今年2022年からは学会誌である「韓国協同組合研究」が年4回発刊されることとなりました。そして昨年からは、毎月、オンラインで若手研究者らが自身の研究テーマを発表するセミナーを開催しています。このオンラインセミナーには学会の会員以外にも外部の関係者も多く参加しています。

2022年7月初めには韓国の慶州市において第8回社会的経済統合学術大会が開催されました。このイベントは毎年7月初めに開かれる「大韓民国社会的経済博覧会」の一部として位置づけられています。韓国協同組合学会は社会的企業学会、韓国非営利学会とともに統合学術大会を毎年共同で開催しています。統合学術大会を通じて研究者はもちろんのこと、社会的経済と協同組合の経営者と活動家、そして政策当局者らが一堂に会し、活発に討論し意見を交わしています。今年は「社会サービス福祉国家と社会的経済」というテーマで韓国の新政権の社会的経済政策に関する発表と討論が行われました。

日本においても新しい協同組合法が施行されると存じております。そして、今回の秋季大会のテーマが新しい法に関連したものであると伺っております。協同組合に関する様々な研究テーマがございますが、新しい法律の導入とそれに伴う社会、経済制度の変化というテーマも非常に重要であると考えます。このような点で韓国の協同組合基本法と日本の新たな協同組合法について討論する機会があればと願っております。

我々は今後もCOVID-19と共存する方法を身につけていかなければならないことでしょう。来年には日本協同組合学会と共同で学術大会が開催できることを期待いたします。日本協同組合学会会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

ありがとうございます。